

被災地から感謝を伝える取り組み「arigato MASHIKI (ありがとう益城)」(コミュニケーションマーク)は、2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。



“にぎわいづくり”の実現と 完全復興へのさらなる加速

～町長マニフェスト進展状況～

熊本地震からまもなく6年を迎えます。その間、町は、町民の皆さまと共に全力で復旧・復興に取り組んできました。

その結果、復旧事業はほぼ完了し、創造的復興のシンボルとなる①益城中央被災市街地復興土地区画整理事業、②県道熊本高森線4車線化事業においても、確実な進展を図ることができています。

また、木山横町線沿いには、仮設団地に設置されていた「みんなの家」を利用したコワーキングスペースやシェアオフィスがオープンし、新たなにぎわいづくりも進んでいます。

令和3年3月には、これまで町民の皆さまとの意見交換等で頂いたご意見に基づきながら、まちの復興将来像として「益城町ふるさと風景イメージ集」を作成するなど、住民主体のまちづくりも進めています。

今後も、復旧の完了に向けた施策をさらに加速させ、新たなにぎわいづくりを通じた“完全復興”を達成するための取り組みに、一層力を入れていきます。



みんなで考えた「益城町ふるさと風景イメージ集」

①益城中央被災市街地復興土地区画整理事業
仮換地指定の割合
(令和3年12月末時点) **68.8%**

②県道熊本高森線4車線化事業
用地買収の契約率
(令和3年12月末時点) **89.3%**

車道の工事が進み、完成後の姿がより一層見えてきた県道熊本高森線4車線化モデル地区(広崎)



コワーキングスペース

防災

令和2年度中、徳島県石井町と災害時相互応援協定を結んだ他、民間団体・企業の㈱アクティオ、九州電力㈱、Jパックス㈱、九州カートン㈱、益城町料理飲食業組合、キックマンこころダイニング㈱、JAかみましきの7団体とも協定を結び、万が一の災害発生に備えています。(写真は石井町との協定締結式)



災害時における避難所のインターネット接続手段の確保を目的とし、小中学校6カ所(飯野小、広安小、益城中央小、津森小、広安西小、木山中)と町施設8カ所(役場仮設庁舎、総合体育館、保健福祉センター、給食センター、公民館飯野分館・福田分館・津森分館、四賢婦人記念館)に無線LANを整備しました。



◀ 総合体育館などの避難所では、無線LANにより災害情報などを収集可能

自主防災組織の設立支援を実施し、令和3年11月における組織カバー率は53.6%となりました。

自主防災組織は、平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難支援、避難所への給食給水などの活動を行い、災害に強いまちづくりの一端を担っています。



◀ ダンボールベッド組み立て訓練
(令和2年10月)



物资配給訓練 ▶
(令和2年11月)